

[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

- ・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、毎月、従量料金単価（1㎡あたりの単価）を調整する制度です。
- ・基準平均原料価格（83,350円/トン）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円につき、1㎡あたり 0.081円（税抜）調整します。
- ・ガス料金（一般ガス供給約款）の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/トンを上限とします。

2. 平均的なガス使用量（29㎡/月）のご家庭のガス料金（2026年9月検針分）

(1) 平均原料価格の算定

$$\begin{array}{l} \text{＜LNG平均輸入価格＞} \\ 93,150 \text{ (円/トン)} \times 0.9576 + 121,910 \text{ (円/トン)} \times 0.0466 = 94,881.446 \text{ (円/トン)} \\ \Rightarrow 94,880 \text{ (円/トン)} \quad \text{※10円未満を四捨五入} \end{array}$$

(2) 平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

$$\begin{array}{l} \text{＜平均原料価格＞} \quad \text{＜基準平均原料価格＞} \\ 94,880 \text{ (円/トン)} - 83,350 \text{ (円/トン)} = 11,530 \text{ (円/トン)} \\ \Rightarrow 11,500 \text{ (円/トン)} \quad \text{※100円未満を切捨て} \end{array}$$

(3) 従量料金単価調整額の算定

$$\begin{array}{l} \text{＜原料価格変動額＞} \\ 11,500 \text{ (円/トン)} \times 0.081 \text{ (円/㎡)} \div 100 \text{ (円/トン)} \times (1 + 0.10) = 10.2465 \text{ (円/㎡)} \\ \Rightarrow 10.24 \text{ (円/㎡)} \quad \text{※小数点第3位以下を切捨て} \end{array}$$

(4) 従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

$$\begin{array}{l} \text{＜基準単位料金＞} \quad \text{＜従量料金単価調整額＞} \quad \text{＜政府支援分＞}^* \\ 169.03 \text{ (円/㎡)} + 10.24 \text{ (円/㎡)} - 18.00 \text{ (円/㎡)} = 161.27 \text{ (円/㎡)} \end{array}$$

（参 考）2026年8月検針分の従量料金単価との比較

$$\begin{array}{l} \text{＜2026年9月の従量料金単価＞} \quad \text{＜2026年8月の従量料金単価＞} \\ 161.27 \text{ (円/㎡)} - 163.40 \text{ (円/㎡)} = \blacktriangle 2.13 \text{ (円/㎡)} \end{array}$$

※電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援に基づく値引き。

(5) ガス料金（2026年9月検針分、税込）

$$\begin{array}{l} \text{＜基本料金＞} \quad \text{＜従量料金単価＞} \quad \text{＜ガス使用量＞} \\ 1,588.88 \text{ (円/月)} + 161.27 \text{ (円/㎡)} \times 29 \text{ (㎡/月)} = 6,265.71 \text{ (円/月)} \\ \Rightarrow 6,265 \text{ (円/月)} \quad \text{※1円未満を切捨て} \end{array}$$

以 上